

**国立大学法人京都工芸繊維大学の  
京丹後市での研究活動拠点施設を整備・新設  
「(仮称)京都工芸繊維大学京丹後研究センター」を新設**

平成 18 年 6 月 1 日

京丹後市役所

国立大学法人京都工芸繊維大学と京丹後市は、相互の人的・物的・知的資源の有効活用を図ることにより、丹後地域の持つ魅力、大学の持つ魅力、学生の持つ潜在的な能力をこれまで以上に開花・育成し、より輝かせる観点から昨年 12 月に「連携・協力に関する包括協定」を締結。

これにより、大学との協力体制を一層強化し、本市の地域産業の振興をはじめ、新産業の創出・文化の向上、人材育成など幅広い分野で連携を図り、活気あふれる市の創造をすすめているところです。

そして、今回、大学の市内での研究活動拠点施設の整備・新設が決まり、網野町内でこれまで民間企業に貸し付けていた建物を整備して、「(仮称)京都工芸繊維大学京丹後研究センター」を設置することとしました。

**「(仮称)京都工芸繊維大学京丹後研究センター」整備概要**

**建物概要** 網野小字丹治山3038-1ほか（八幡金属跡）

土地 4843.99㎡

建物	工場	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺二階建	1階	1030.50㎡
			2階	117.79㎡

自転車置場	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	20.00㎡
-------	----------------	--------

**整備概要** 教員および学生のみなさんの滞在活動が数か月にわたることもあり、宿泊施設としての整備や、研究活動に使用する機器のための電気整備等の施設整備を行います。 【整備事業費 44,785 千円】

# (仮称) 京都工芸繊維大学京丹後研究センターでの研究活動等

## 1. 研究活動等

2 研究室の教授等が、それぞれ毎月 1 週間程度 (計 2 週間) 同センターにおいて研究を行うことをはじめ、夏季・冬季を中心として、デザインや建築等の学生の合宿ゼミを実施



本年度は約15研究室、それぞれ 5 ~ 15人の学生が 4 日程度 (延べ約400日) の合宿ゼミを行う予定

### インターンシップ学生の宿泊施設 (今年度は機械系 8 社) 夏季

日 程 平成18年 7 月24日 (月) ~ 7 月28日 (金)

企業名 (株)大宮日進・荻野精工(株)・ (株)峰山鉄工所・(株)葦城製作所  
(株)日昌製作所・(株)日進製作所・(株)積進・(株)タンゴ技研  
に各 1 人ずつ派遣

### 学生団体の合宿等・夏季

## 2. 市民向け活動等

### **教育、文化の向上に関する事項**

研修室(40名程度)において、市民を対象に生涯学習講座等を実施し、教育、文化の向上に関する連携・協力を図る。

Eラーニングシステムを利用した遠隔地教育プログラムを導入  
地元の中、高校生対象のサイエンススクール等の実施

### **まちづくりに関する事項**

まちづくりや都市デザインに関する調査・助言等の依頼

まちづくりに関する共同研究・事業の実施

大学調査研究プロジェクトの実施拠点

各種研究会の設置

各種委員会等への研究者の派遣

### まちづくりに関する事項

現在進行中のサイン計画や峰山駅周辺改修計画等の実施に向けての連携・協力

## 【平成 17 年度までの実績と今後の予定】

京都工芸繊維大学丹後サテライトの設置( 京都府織物・機械金属振興センター内 )  
市またはその外郭団体等が実施する実務講座 ( 経営学講座・観光業関連講座 ) 等  
への講師選定 ( 兼業派遣 )

大学の研究プログラムの京丹後市における実施

- ・ 自然環境と調和した公園のデザインとその実施

実施例 : あじわいの郷ウッドデッキ設置 ( デザイン学会作品集掲載 ) 等

- ・ 産業調査プロジェクト

実施例 : 市の地域と産業の再設計に向けた提言プロジェクト ( 2 カ年事業 )

16 年度 製造業全般を調査対象とし、約 1600 事業所に郵送アンケート  
調査 ( 一部ヒアリングを含む )。約 440 件を回収し、その結果を  
分析。

17 年度 機械金属業及び観光業を調査対象とし、ヒアリングによる調査を  
実施。現在、調査結果及び提言の執筆中。

18 年度 ( 予定 )

平成 16・17 年度に実施した調査研究結果をベースに、他の  
産業集積地 ( 産業クラスター ) などの現地調査を実施し、それら  
との比較検討を行う。また、市の関連部局等との研究会を設置し、  
産業 ( 技術 ) ・ 経営 ・ デザイン など多面的な観点から産業集積を活  
用した地域産業再生策を提案する。

大学と京丹後市との共同研究事業

- ・ 観光サイン計画策定事業

## 【包括協定に基づく実施予定事業】

平成 18 年 1 月 28 日に京都工芸繊維大学において行われた大学および市の双方出席による協力推進協議会において出された内容(確定事項ではないが今後考えられること)

女将さん塾

峰山駅東口再開発

越前くらげ問題

厚生労働省パッケージ事業

ものづくり支援事業

久美浜湾埋立跡地の活用

大陸との交流におけるものづくり(水晶・鉄製品・織物・薬草等) 展示も含め

丹後王国歴史文化館についての研究検討や委員会の設立・参加

光ファイバネットワーク(ブロードバンド構想 CATV や運営主体研究)ノウハウの研究

小中学校の統廃合問題の研究(グランドデザインや方法論の研究等)

小中学校への集中的出前講座(特に理科関係、いかに興味を引くのか)

文化財の鑑定

史跡整備(発掘遺物の利用における研究等)

原石ともいえる磨けばさらに魅力を増す歴史や自然を生かしたまちづくりの必要性

観光に結びつく全体のまちづくりの研究(多くの観光客を引き込むには何が必要か等)